



令和2年2月15日発行
No.96

社協だより みふね

社会福祉法人
御船町社会福祉協議会
TEL 282-0785
FAX 282-7895
御船町御船1001-1

新年のご挨拶



社会福祉法人
御船町社会福祉協議会
会長 藤木 正幸

新年あけましておめでとうございます。

令和初の新春、皆様におかれましては、新年を健やかに迎えのことに心からお喜び申し上げます。

平成28年熊本地震から3年以上が経過し、3月末までにはすべての災害公営住宅が完成予定となり、復旧・復興が順調に進んでいます。

社会福祉協議会では、被災者の皆様が安心して普段の生活を送っていただけるように、行政機関や民生委員・児童委員など各種団体等と連携し、生活再建を地域支え合いセンターとともに支援しています。

そうした中で、昨年秋の11月末に御船町災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。この訓練を通して当時を振り返りながら「助け合いの心と地域の絆」の重要性を改めて共感することが出来ました。

本年も、地域で共に暮らし、支え合う、地域福祉の必要性とご近所での見守り、助け合い、コミュニティ形成など経常的な事業も含めて強化していくよう役職員一丸となって推進してまいりますので、今後ともご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

全国社会福祉協議会会長表彰受賞

11月23日、東京メルパルクホールにて全国社会福祉協議会優良団体表彰をいただきました。これは御船町と水越地区の皆さまと共に立ち上げた水越「ホタルの学校」の取り組みについて評価されたものです。水越「ホタルの学校」は4月から6年目を迎えます。社協はこれからも住民の皆さまの支え合い活動が、活発に行われるよう支援していきます。



水越「ホタルの学校」のみなさんと

御船町災害ボランティアセンター設置・運営訓練

令和元年11月24日、「平成28年熊本地震」の経験や記憶を基に、御船高校の協力を得て災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。

御船高校生、地域住民、運営スタッフなど111名の参加があり、災害が発生した地域でボランティアとして活動する時の疑似体験や土のう訓練など、良い経験ができたという声が聞かれました。

災害時相互応援協定を締結している熊本市社協と上益城郡内の4社協からも職員が応援に加わり、良い連携をとることができました。当日は雨や落雷もあり、臨場感のある訓練となりました。

ご協力いただいた御船高校の皆さま、地域住民の方、応援社協の方、本当にありがとうございました。



訓練の内容

① ボランティア受付

受付票とボランティア活動保険加入カードへの記入、名札の作成を行います。



⑤ 資材準備

必要な資材等を貸し出します。必要に応じてボランティアの送迎も行われます。



② オリエンテーション

ボランティアに一日の活動の流れや活動上の注意事項を説明します。



⑥ 現地で活動

現地に移動し、ボランティア活動を行います。

⑦ 活動報告

リーダーは活動状況と活動継続の有無をスタッフに報告します。活動継続が必要な場合は引継ぎ事項を伝えます。

③ マッチング

被災者からの依頼内容の説明を聞き、参加したい活動に手を挙げ、活動先を選択します。



土のう訓練

土のう袋の結び方や積み方を実際に体験しました。



④ グループング

グループをつくり、リーダーを決め、詳しい依頼内容の説明を受けます。



炊き出し訓練

アルファ米を使った訓練を行い、試食しました。地震の時の思い出しました。



※ 実際の災害ボランティアセンターでも、基本①～⑦の流れで活動を行います。



令和元年度共同募金は皆様のおかげで下記のようにになりましたので ご報告申し上げます。

お寄せいただきました皆様の善意は、全額(4,968,100円) 熊本県共同募金会へ送金いたしました。

◆ 赤い羽根募金	3,470,772 円
(内訳)戸別・嘱託区募金	4,410 件 2,206,500 円
法人募金	51 件 419,500 円
学校募金	8 件 68,070 円
職域募金	53 件 532,400 円
個人募金	3 件 7,000 円
その他(募金箱、くまモングッズなど)	14 件 237,302 円
◆ 歳末たすけあい募金	1,372,000 円
◆ 赤い羽根自動販売機売上寄付金	125,328 円

歳末見舞金配分金

- 要保護世帯(11世帯 25名) 69,000円
- 在宅介護高齢者見舞い(66名) 330,000円
- その他、社協の地域福祉事業として活用されます。



御船中生徒会より



木倉小児童会より



七滝中央小児童会より

大口寄附者 (5,000円以上) 順不同・敬称略

御船町役場職員	天陽建設	三原精機	田上石油
御船町福祉協力員	榎田泌尿器科外科医院	御船運送	麻生交通
御船町民生児童委員協議会	インフィニティー	竹本綜合建設	清和自動車
牟田内科医院	大八運送	第一エンジニアリング	井本土木建設
御船中学校職員・生徒	入江歯科医院	みふね眼科	ツルカメ企画事務所
御船町土木建設協会	はなや	御船共栄	吉本組
御船小学校職員・児童	大久保耳鼻咽喉科医院	高木保育園	藤井商店
御船高校職員・生徒	畑田工業	こども園みどりの里	山中オート販売
上益城消防署職員	第一事務機	恵寿会グリーンヒルみふね	御船町弁当製造組合
NOSAI	成瀬でんき	御船警察署	三協工業
上益城地域振興局	恵寿会グリーンヒルみふね	御船町甲佐町衛生施設組合	御船共栄共乾利用組合
障がい者総合支援センター ヴィラささゆ	小糸整形外科	滝尾幼稚園	蒲地禮子
小坂小学校職員・児童	藤岡医院	上野保育園	八反田商会
木倉小学校職員・児童	熊本光洋	養護老人ホームオアシス職員	高木小学校職員・児童
水越中部老人クラブ	肥後銀行御船支店	御船郵便局	御船町社会福祉協議会
七滝中央小学校職員・児童	丸山商店	JA 上益城御船支所	
御船昭和保育園	御船印刷	上田建設	
若葉保育園	永田工務店	エディオン御船店	
滝尾小学校職員・児童	渡邊工務店	川端木工所	
江藤歯科医院	トモテック	池田工建	
	ダスキン熊楠	西邦電気工事	

皆様のご協力
ありがとう
ございました

地域の底力向上研修会 (熊本県社協主催)



12月18日、役場第2分庁舎にて、福祉協力員の研修と合わせて開催。東日本大震災で被災者支援を担当された宮城県サポートセンター支援事務所の真壁さおり氏より「地震後の地域づくり」について講義がありました。グループワークでは「年を取って運転できなくなったとき、どんな支え合いがあったらよいか」について意見交換。「気軽に『助けてほしい』を言える地域づくりをしていくことが必要」等の意見が出ました。

新しい福祉協力員です

大山 小百合氏 (上野地区)

坂本 勇一氏 (田代東部地区)

任期：令和2年1月1日～3年3月31日

高齢者の見守りや困りごとのつなぎ、サロンのお手伝いなどを行います。
よろしくをお願いします。

社協玄関横に自動販売機を 新たに設置しました



この自動販売機の売り上げの一部は、赤い羽根共同募金に寄付されます。

在宅介護者のつどい



日々在宅で介護されているご家族の介護疲れを癒す目的で毎年開催しています。11月7日に和水町へ「日本マラソンの父」金栗四三氏の生家記念館やミュージアムを巡り、会食を楽しみました。参加者からは「時間を忘れて楽しむことができました。参加してよかった」という声を頂きました。

第1回 水越老人クラブ 交流演芸の集い



11月17日、水越小学校体育館にて約80名が集いました。会員の交流と地域の結束を目的に、カラオケや手品、演舞、バナナのたたき売りなど各々が持ちネタを披露し、会食やお話を楽しみました。会場からは「日頃会えない人とも会えて嬉しかった」「よく笑った」の声があり、盛り上がりました。

これらの事業はすべて皆様の善意「赤い羽根共同募金」及びボラサポ・九州「住民支えあい活動助成」で行われています。

シリーズ あなたの地区のふれあいサロン

第3火曜日に北木倉公民館で開催

かよう会(北木倉)



みんなで植木市にてかけました。

松の生ツツジサロン(松の生)



お楽しみ、年に一度の小旅行。

第2、4水曜日に松の生公民館で開催

シリーズ 地域のカ⑦ 「田代東部地区社協」

高松秀行会長以下、囑託員や地域住民で構成され、平成9年から活動しています。敬老会等の福祉行事に加え、日頃は見守り活動やサロンの支援、困りごとの相談を行っています。

12月7日に行われたチャリティ餅つきは20回目。この日は一人暮らしの高齢者のご家庭にカレンダーや年賀状と共に届けました。高松会長は「人生の先輩方に楽しく老後をご過ごして頂きたい思いで活動している。また地区社協として地区の課題を検討したり町や社協につなげていきたい」と話しました。



新民生委員を紹介



みんなで餅つき



訪問の様子

町営中原団地で「おためしサロン」開催



12月20日に町営中原団地集会所にて開催。体操の他、ゲームや茶話会で、楽しい時間を過ごしました。「体を動かした方が気持ちよい」「こんなのがあったら嬉しい」などの声がありました。今後も継続していく予定です。

シリーズ レクリエーション用品紹介③

つりっこ

魚釣りのゲームです
魚は木製



地域のつどいやイベントに使ってみませんか。借用の際は印鑑をご持参ください。

ひとり親世帯の入学お祝金の申請が変わります！

これまで社協では、小学校・中学校に入学されるお子様をお持ちのひとり親世帯に対し、地区の民生児童委員にお祝い金の申請や受け渡しを依頼してきましたが、令和2年度の対象世帯から民生児童委員を通してではなく、**個人での申請方式に変更**になります。



対象者：小学校入学（平成25年4月2日～平成26年4月1日）ひとり親世帯
中学校進学（平成19年4月2日～平成20年4月1日）ひとり親世帯

手続場所：御船町社会福祉協議会窓口

受付期間：令和2年2月3日（月）～2月28日（金）

※対象児童生徒の生年月日を確認できる書類（健康保険証）・印鑑を持参ください。

法律相談のお知らせ

場所……御船町コミュニティーセンター
ひばり荘（社協事務局）

施設利用料…… 一人 110円

日程…… 2月19日(水)
3月11日(水) ※第2水曜日
4月15日(水)
5月20日(水)

時間……13:00～16:00



※相談は無料、秘密は厳守します。

困りごとや悩みごと、何でもご相談ください。

相談員は弁護士・人権擁護委員・行政相談員です。

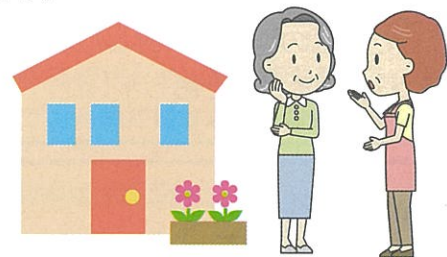
当日のみ電話での受付を行います。

受付時間は午前8：30 からです。 電話 282-0785

お知らせ

御船町社協では例年、緊急時及び災害時のすみやかな安否確認のため一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の実態把握を民生児童委員に依頼して行っています。

3月から、対象世帯に民生児童委員が訪問されますので、ご協力よろしくお願いたします。



社協会費協力のお願い < 期間：2月3日（月）～28日（金） >

御船町社協は昭和60年に社会福祉法人として法人化され、その運営は会員（会費）制度によって支えられています。

社協の事業は、主に寄付金・共同募金地域配分金・会費で実施しています。

社協会費は年間に

一般会員（一世帯当り）…………… 500円

賛助会員（協賛者一人当り）…………… 1,000円

特別会員（協賛者一人当り）…………… 10,000円 となっております。

町民皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

